

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護総合演習Ⅱ Care Practice Support Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修) 介護福祉士養成課程の学生のみ履修可	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護総合演習Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保 由佳	福祉棟2F	月～金 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
介護総合演習Ⅰの学習内容をもとに、多様な実習形態を通して、利用者およびさまざまな生活の場や介護の場の理解を深める。また、介護過程の第1段階である利用者の情報収集について、その必要性を理解するとともに具体的な方法を学ぶ。				
授業の目標				
①多様な生活や介護の場に触れ、利用者を総合的に捉えられるようにする。 ②介護における倫理の重要性を認識し、専門職であることを自覚できるようにする。 ③居宅サービスの種類や形態、訪問サービスの留意点を説明できるようにする。 ④利用者記録および情報収集用紙を適切に書くことができるようにする。 ⑤各介護実習のオリエンテーションや反省会を通して、実習の効果や課題を明確にできるようにする。				
授業の方法				
講義・演習・視聴覚教材の活用・グループワーク・実習オリエンテーションおよびまとめ等、多様な授業形態をとる。実習記録については演習と個別指導を取り入れる。				
学習の成果(学習成果)				
①利用者を取り巻く環境に目を向け、個別ケアの視点を高めることができる。 ②介護福祉士に必要な倫理を身に付け、人権やプライバシーに配慮して行動することができる。 ③居宅サービスについて説明でき、在宅における援助を行うことができる。 ④各介護実習に必要な記録の重要性を認識し、適切に記録ができる。 ⑤基礎実習Ⅰでの体験を振り返り、次段階実習に向けた課題を明確にすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 基礎実習Ⅰの振り返り(グループ討議) 【レポート1:基礎実習Ⅰの反省会用紙】			
第2回目	基礎実習Ⅰのまとめ(発表)			
第3回目	介護倫理(介護倫理とは、社会福祉士法及び介護福祉士法)			
第4回目	スーパービジョン、ひやり・はっと事例			
第5回目	基礎実習Ⅱ、施設介護実習Ⅰの準備(施設情報一覧と希望調査票の配布・説明)			
第6回目	居宅サービスおよび居宅介護実習先の理解			

第7回目	居宅介護実習Ⅰ(訪問入浴)の準備(実習上の留意点、実習記録一式配布) 訪問入浴見学実習(日程は決定次第、連絡する) 【レポート2:訪問入浴車による入浴の実際を見学した感想と学び】		
第8回目	感染対策(予防)の基礎知識		
第9回目	利用者の情報収集について(情報の必要性和ICFの視点からの情報収集) *胸部レントゲン撮影:11月中旬～下旬に実施予定		
第10回目	基礎実習Ⅱ、施設介護実習Ⅰの準備(個人票、誓約書、「課題と抱負」用紙配布・説明) 視聴覚教材による学習 【レポート3:VTR「こころに響く接遇」を視聴した感想・学び】		
第11回目	実習記録① 「利用者記録」の記録方法、家系図の作成		
第12回目	実習記録② 利用者の特定の仕方、行動計画 【レポート4:利用者記録の書き方演習】		
第13回目	実習記録③ 利用者記録の書き方(個別指導) 基礎実習Ⅱの準備(検便容器配布・説明)		
第14回目	居宅介護実習Ⅰ(訪問入浴) 報告会・まとめ 【レポート5:訪問入浴実習の振り返り用紙】 基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰの準備(検便容器配布・説明、実習記録一式配布)		
第15回目	基礎実習Ⅱ・施設介護実習Ⅰオリエンテーション、授業のまとめ *実習反省会は別日程にて実施		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		50%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことをノートにとっている。③課題等の提出期限を守っている。④グループワーク時、自分の考えを述べている。
レポート		50%	Sのレポートは、課題のテーマに沿って学び・気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
新・介護福祉士養成講座 第10巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」中央法規出版 福祉小六法 介護実習の手引き 履修上の留意点・ルール			
介護総合演習Ⅰの内容に加えて、他科目の復習を通して事前学習に積極的に取り組むこと。実習関係書類は提出期限を厳守すること。「介護実習の手引き」は毎回持参すること。飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合には、速やかに届け出を提出すること。			